

教科名	国語	科目名	論理国語	年次	3年次	単位数	2
教科書	論理国語 (大修館書店)		副教材	「準拠ワーク」 「大学入試国語頻出問題1200」「国語辞典」			

1 科目の目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目指す。また、言葉が持つ価値への認識を深め、他者や社会に関わろうとする態度を養う。学習過程の中で、自ら課題設定をしてその解決に主体的に取り組もうとする姿勢を養う。

2 学習について

① 予習・復習の仕方 予習：本文を読み、語句調べをし、主旨をつかもうとする。 復習：教科書を読み返し、各段落の要点を確認する。その際、重要事項等ノートに書きこんで、授業内容を振り返る。 ② 授業における学習方法 積極的に理解に努める姿勢で、発問に対しノートに自らの考えの軌跡を残す。復習の際に書き込めるノート作りに心掛ける。 ③ 家庭学習のポイント 【全員】宿題は、出された当日に必ず自分の力でする。 【Aクラス】スタディサプリを積極的に活用する。模試の復習を行う。 【Bクラス】準拠ワークに取り組み、授業の復習を行う。教科書本文を読み込み理解を深める。
--

3 学習計画

考查		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	・自己と他者 ・コミュニケーションの手段 ・対比して論じる	・筆者の定義や対比表現を的確に押さえ、主張をとらえる。「読むこと」 ・相手を意識して、対比を効果的に用い、特徴を明確にして書く。「書くこと」
	前期 期末	・メディアの変容 ・言語の探究 ・アンケート調査をもとに書く	・問題提起と答えや、具体例の意図を押さえ、論理の展開を的確に読みとる。「読むこと」 ・課題を決めて、留意点を理解しながら調査を実施し、分析・考察をする。「書くこと」
後期	後期 中間	・政治と社会 ・環境のまなざし	・具体的な説明と抽象的な論理の関係に気を付けながら読み、主張を批判的に検討する。「読むこと」 ・文章構成の仕方を学び、進路希望や興味関心に合わせて小論文を書く。「書くこと」
	学年 末	・歴史と時間 ・環境のまなざし ・自由に考えを書く	・筆者の思索の流れや論の展開の仕方に気を付けてよみ、多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めて読む。「読むこと」 ・文章構成の仕方を学び、進路希望や興味関心に合わせて小論文を書く。「書くこと」

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考查・課題考查・授業内小テストの成績、単元ごとや宿題などの課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。 知識・技能…60％ 思考・判断・表現…30％ 主体的に学習に取り組む態度…10％
--

